

安全データシート (SDS)

【1. 製品名及び会社情報】

製品名 消臭除菌水
 会社名 エア・ウォーター・バイオデザイン株式会社
 住所 兵庫県神戸市中央区港島南町1丁目3番1号 国際くらしの医療館・神戸 3階
 電話番号 078-304-5356

【2. 危険有害性の要約】

GHS 分類

物理化学的危険性	爆発物	区分外
	可燃性又は引火性ガス（化学的に不安定なガスを含む）	分類対象外
	エアゾール	分類対象外
	支燃性又は酸化性ガス	分類対象外
	高压ガス	分類対象外
	引火性液体	分類対象外
	可燃性固体	分類対象外
	自己反応性化学品	区分外
	自然発火性液体	分類対象外
	自然発火性固体	分類対象外
	自己発熱性化学品	分類対象外
	水反応可燃性化学品	分類対象外
	酸化性液体	区分外
	酸化性固体	分類対象外
	有機過酸化物	分類対象外
金属腐食性物質	分類できない	
健康有害性	急性毒性（経口）	区分外
	急性毒性（経皮）	区分外
	急性毒性（吸入：気体）	分類対象外
	急性毒性（吸入：蒸気）	区分外
	急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	区分外
	皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分外
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	区分外
	生殖細胞変異原性	分類できない

	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	生殖毒性・授乳影響	分類できない
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分外
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	分類できない
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境有害性	水生環境有害性（急性）	区分 3
	水生環境有害性（長期間）	区分 3
	オゾン層への有害性	分類できない

GHS ラベル要素

注意喚起語	該当なし
標章	該当なし
危険有害性情報	長期継続的影響により水生生物に有害
注意書き	【安全対策】 河川等、環境への大量放出を避けること
	【保管】 冷暗所にて保管のこと
	【廃棄】 充分希釈するなど可能な限り無害化処理を行って危険有害性レベルを低い状態にすること

【3. 組成、成分情報】

単一製品・混合物の区別： 混合物（水溶液）

化学式又は一般名： 消臭除菌水（有効塩素濃度：100ppm）

成分名	含有量 [wt%]
電解次亜塩素酸類(次亜塩素酸、次亜塩素酸塩)	0.01%

【4. 応急措置】

吸入した場合	➤ 気分が悪い時は医師の診断手当てを受けること
皮膚に付着した場合	➤ 水で洗い流すこと ➤ 皮膚刺激がある時、医師の診断手当てを受けること
目に入った場合	➤ 水道水などの清浄な水で注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 ➤ 眼刺激が持続する時は医師の診断手当てを受けること
飲み込んだ場合	➤ 気分が悪い時は医師の診断手当てを受けること

【5. 火災時の措置】

消火剤	本製品は不燃性である 水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
使ってはならない消火剤	棒状放水（飛散するおそれがあるため）
特有の危険有害性	不燃性でそれ自身は燃えないが、加熱されると分解して、腐食性又は有害なガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する
消火を行う者の保護	消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

【6. 漏出時の措置】

人体に対する注意事項 保護具及び緊急時措置	密閉エリア内に立入る時は換気する
環境に対する注意事項	希釈されずに環境へ大量排出されないように注意する
回収、中和	環境への放出を避けること 漏洩場所は大量の水を用いて洗い流す
封じ込め及び浄化の 方法・機材	危険でなければ漏れを止める
二次災害の防止策	床面に残ると滑る危険性があるためこまめに処理する

【7. 取扱い及び保管上の注意】

取扱い	<p>《技術的対策》</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 使用後は密栓し、なるべく早く使い切ること。 <p>《局所排気・全体換気》</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 排気換気を行う <p>《安全取扱い注意事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 取扱い後は手をよく洗うこと ➤ 眼、皮膚、口などの粘膜に付けないこと（刺激を受けることがあるため） ➤ 使用時、噴出し口に顔を近づけないこと。気温が高いと容器内圧が上昇して使用時に液が飛散して眼に当たる危険性があるので注意する。 ➤ 別の容器に移し替えないこと（自然分解の進行と材料によっては腐食の恐れがあるため） <p>《接触回避》</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 『10.安定性及び反応性』を参照
保管	<p>《技術的対策》</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 特別に技術的対策は必要としない <p>《保管条件》</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 容器を密閉して冷暗所に保管する

	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 光、熱、空気（二酸化炭素）により、徐々に有効塩素を失うので、容器は密閉して直射日光を避け冷暗所に保管すること。 ➤ 重金属類（コバルト、ニッケル、銅など）が存在するとそれらが触媒となり、分解を促進するため容器内にこれらが混入しないようにすること。 <p>《混触危険物質》</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 『10.安定性及び反応性』を参照
--	---

【8. 暴露防止及び人に対する保護措置】

管理濃度	➤ 未設定
許容濃度	➤ 未設定
設備対策	<ul style="list-style-type: none"> ➤ この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること ➤ 排気は一般的な換気で充分
保護具	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 呼吸器の保護具：特に必要無し（噴霧液を吸引しないよう配慮すること） ➤ 手の保護具：特に必要無し（液が手に触れないよう注意すること） ➤ 眼の保護具：特に必要無し（噴霧液が眼に入らないよう注意すること） ➤ 皮膚及び身体の保護具：特に必要無し（噴霧液が皮膚に触れないよう注意すること）
衛生対策	➤ 取扱い後はよく手を洗うこと

【9.物理的及び化学的性質】

外 観：	無色透明
臭い：	ほぼ無臭
pH：	約 7
融点／凝固点：	データなし
沸点、初留点と沸騰範囲：	約 100℃
引火点：	データなし
発火点：	データなし
燃焼または爆発の範囲：	データなし
蒸気圧：	データなし
蒸気密度：	データなし
比 重：	データなし
溶解度：	データなし
オクタノール／水分配係数：	データなし
分解温度：	データなし

【10.安定性及び反応性】

安定性	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 通常の手扱い条件においては安全 ➤ 光・熱により分解が促進されるため直射日光を避け冷暗所にて保管運搬のこと
-----	--

危険有害反応可能性	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 強酸化剤と混触すると塩素ガス発生の可能性がある ▶ 金属を腐食する可能性有（ニッケル、銅、アルミ、亜鉛、錫など）
避けるべき条件	高温、日光
混触危険物質	強酸化剤
危険有害な分解生成物	塩化水素、塩素

【11.有害性情報】

急性毒性：	経口 ラット：LD50 > 2000mg/kg [「区分外」に該当]（一般財団法人日本食品分析センター） 吸入 ラット：LC50 > 5000mg/m ³ [「区分外」に該当]（株式会社住化分析センター）
皮膚腐食性・刺激性：	ウサギを用いた試験（OECD TG 404）において、3匹全例で非常に軽度な紅斑が見られたが24時間後に消失した。 [「無刺激」に該当]（一般財団法人日本食品分析センター）
目に対する重篤な損傷・刺激性：	ウサギを用いた試験（OECD TG 405）において、72時間の観察期間において3匹全例で刺激反応は見られなかった。 [「無刺激」に該当]（一般財団法人日本食品分析センター）
呼吸器感作性または皮膚感作性：	モルモットを用いた試験において、皮肉注射後48時間の観察期間において10匹全例で皮膚反応は見られなかった。 [「感作性なし」に該当]（一般財団法人日本食品分析センター）
生殖細胞変異原性：	データなし [有害危険性は極めて低い]
発がん性：	データなし [有害危険性は極めて低い]
生殖毒性：	データなし [有害危険性は極めて低い]
特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）：	データなし [有害危険性は極めて低い]
特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）：	データなし [有害危険性は極めて低い]
吸引性呼吸器感作性：	データなし [有害危険性は極めて低い]

【12.環境影響情報】

水生環境有害性(急性)：	データなし
水生環境有害性(慢性)：	データなし
オゾン層への有害性：	成分はいずれもモントリオール議定書の附属書に記載されておらず「分類できない」とした。

【13.廃棄上の注意】

《残余廃棄物》

廃棄の際には、大量の水で希釈するなど可能な限り無害化の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にすること。

《汚染容器および包装》

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去洗浄すること。

【14.輸送上の注意】

国際規制

海上規制 : 該当なし

航空規制 : 該当なし

国内規制

陸上規制 : 該当なし

海上規制 : 該当なし

航空規制 : 該当なし

特別の安全対策 : 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

【15.適用法令】

該当なし

【16.その他の情報】

- ・記載内容は弊社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、全ての情報を網羅しているものではありません。新たな情報を入手した場合には、追加または訂正されることがあります。
- ・記載されている値は、安全な取扱いを確保するための参考情報であり、安全の保証書ではありません。
- ・ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定してください。また特別な取扱いをする場合には、新たに用途用法に適した安全対策を実施の上でご使用ください。
- ・当該化学物質を使用する際は、使用者自ら安全情報を収集すると共に使用される場所・機関・国などの、法規制については使用者自ら調査し最優先させてください。
- ・国または地方の規制についての調査は、当社としては行いかねますので、この問題については使用者の責任で処理願います。
- ・この SDS はエア・ウォーター・バイオデザイン株式会社の著作物です。
- ・当該物質の日本語による SDS と他国言語にて翻訳された SDS が存在する場合、内容の相違があるなしに関わらず日本語で記述された文書が優先され、他国言語による文書は参考文書とします。

《引用文献》

- ・GHS 混合物分類判定システム : 経済産業省 (METI)
- ・GHS 混合物分類判定システム [出典] : 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (NITE)
- ・安全データシート [次亜塩素酸ナトリウム] : 厚生労働省
- ・安全データシート [次亜塩素酸ナトリウム] : 昭和化学株式会社
- ・安全データシート [次亜塩素酸水] : 株式会社万立
- ・安全データシート [塩化ナトリウム] : 純正化学株式会社
- ・安全データシート [純水] : 昭和化学株式会社